

金沢版総合戦略の概要

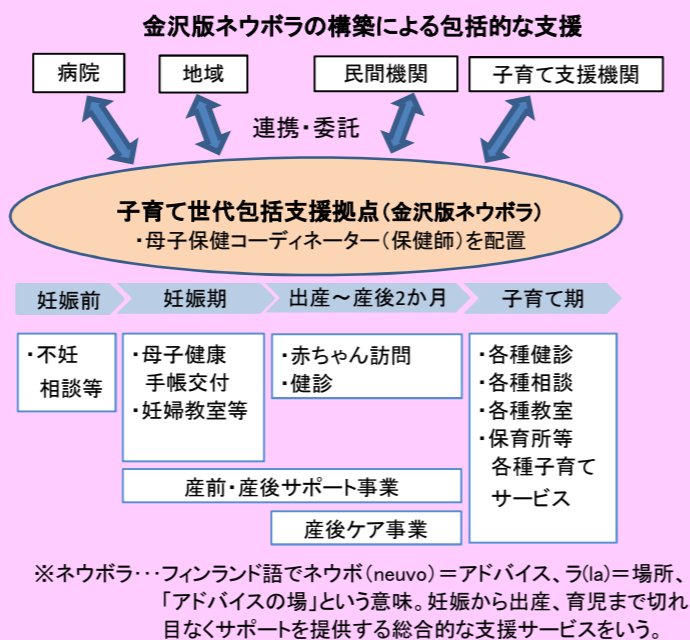
金沢版総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の総合戦略と「金沢市人口ビジョン」を踏まえ、本市の基本目標や具体的な施策をまとめたものであり、基本目標の数値目標や各種施策の効果を客観的に検証できる重要業績評価指標（KPI）を定めることとしている。（期間：平成27（2015）年度～平成31（2019）年度）

【基本目標1】 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

【数値目標】 合計特殊出生率 1.43 (H25) → 1.6 (H31)

【主要施策】

- 妊娠から出産・育児までの切れ目のない支援
 - ・金沢版ネウボラの構築による包括的な支援[新規]
 - ・子どもの医療費に対し助成
 - ・多子世帯の保育料の負担軽減
 - ・保育の需要が高い区域における施設整備等の支援
 - ・「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」の充実
- 金沢らしい子育てサポートの推進
 - ・トイレや駐車場などの位置が簡単に検索できる子育てアプリの開発[新規]
- 結婚の希望をかなえるための環境づくり
 - ・NPO等の市民団体との協働により、結婚を希望する若者に出会いの機会を提供[新規]
- 女性が活躍しやすい環境づくり
 - ・女性の活躍促進に取り組む企業をモデル企業として選定し、取組を支援



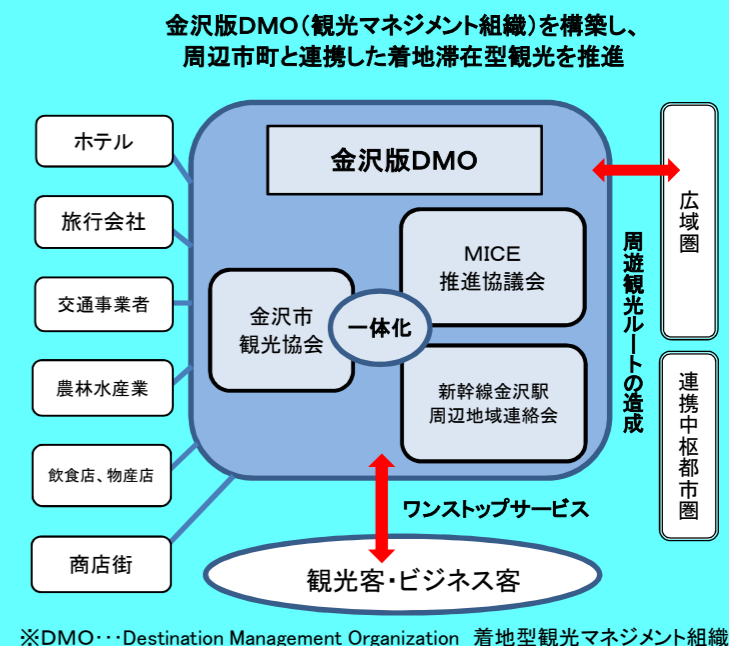
【基本目標3】 新幹線開業を契機に、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【数値目標】 ・金沢地域への観光入込客数 844万人(H26) → 1,000万人(H31)※
・「金沢かがやきブランド」認定製品数(累計) 未実施(H26) → 50品(H31)

※H31は現行の金沢市観光戦略プランの数値

【主要施策】

- 新幹線開業による観光産業の強化
 - ・金沢版DMO(観光マネジメント組織)を構築し、周辺市町と連携した着地滞在型観光を推進
 - ・商店街における免税手続きカウンターの設置や芸術文化施設におけるキャッシュレス環境を整備
- 金沢ブランドを活用した独自産業の創出
 - ・中小企業が開発した優秀な新製品等を「金沢かがやきブランド」として認定し、販路を拡大
 - ・現代生活に適応した新たなライフスタイルを提案する工芸品の開発を促進
- 小規模企業者・店舗等への支援
 - ・インターネットショップを新たに開設する店舗等を支援[新規]
- 多様な主体との連携による新分野産業の創出
 - ・首都圏等から優秀なクリエイターを誘致し、地場産業との融合を促進

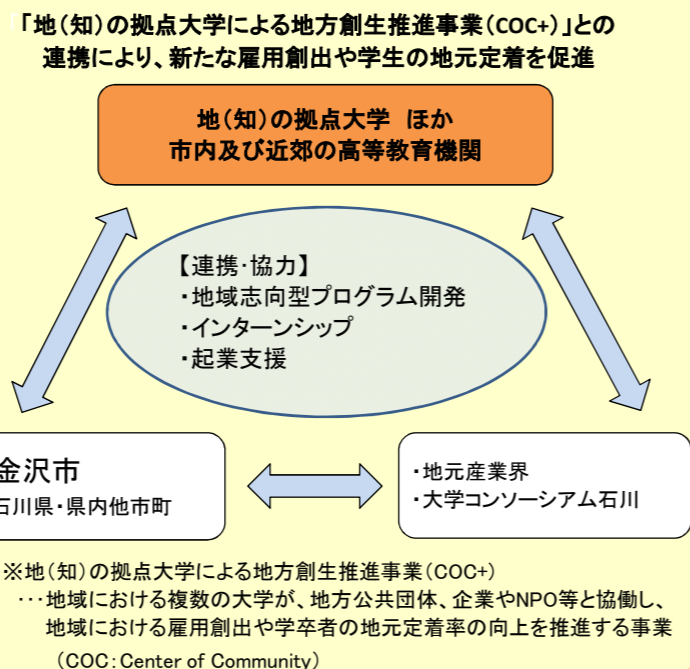


【基本目標2】 学都金沢の強みを生かし、学生がまちに愛着を持ち、人々が集うまちをつくる

【数値目標】 市外へ就職する学生数を1割減 2,000人(H26) → 1,800人(H31)

【主要施策】

- 高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進
 - ・「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」との連携により、新たな雇用創出や学生の地元定着を促進[新規]
 - ・金沢美術工芸大学と地域産業界等の連携を図り、産業創出や学生の地元定着を促進[新規]
 - ・金沢に就職を希望する留学生向けに就職情報を提供[新規]
- 金沢らしさを生かした移住・定住の促進
 - ・移住者に対する定住支援制度を創設[新規]
 - ・金澤町家情報館(仮称)における金澤町家購入・賃貸に関するワンストップ案内サービスの実施
- まちに愛着を持つ人材の育成
 - ・学生が店舗等での割引・特典や地元企業の情報等を受け取ることができるアプリの開発[新規]
 - ・「ジュニアかなざわ検定」の拡充



【基本目標4】 周辺地域と連携し、暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】 石川中央都市圏ビジョンの策定 未策定(H26) → 策定完了(H31)

【主要施策】

- 圏域連携による経済・生活圏の形成
 - ・「連携中枢都市圏」の形成により、圏域住民が安心して快適に暮らせる取組を推進[新規]
- コンパクトシティの形成
 - ・金沢のまちに適応した新しい交通システムを導入
- コミュニティ環境の充実
 - ・市民活動の活性化による地域課題の解決を推進するため、市民活動サポートセンターを設置[新規]
- 元気な中山間地域の形成
 - ・中山間地域において、交流拠点施設(「小さな拠点」)を整備し、都市住民との交流を促進
 - ・就農希望者を誘致する「金沢で農業」プロジェクトを推進
- あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり
 - ・「食と健康」を組み合わせた地域健康づくりを推進[新規]

